

地域活性化伝道師プロフィール		分野		地域産業・イノベーション・農商工連携		農・林・水産業	
		地域医療、福祉・介護、教育				観光・交流	
		地域コミュニティ・集落再生		◎		環境	
		地域交通・情報通信				まちづくり	
ふりがな		しらに のぼる					
氏名		白仁 昇					
所属	名称	一般社団法人おきなわ離島応援団					
	役職	理事					
連絡	住所	(公開)	〒 903-0805				(職場)
		(公開)	沖縄県那覇市首里鳥堀町3-56-7				
	連絡先	(公開)	E-Mail shirani[アットマーク]orod.jp				
		(公開)	TEL 090-3793-0777	FAX -			
連絡方法	E-Mailでお願いします						
略歴	<p>昭和37年横浜市生まれ。早稲田大学理工学部中退。昭和58年3月「沖縄離島情報」取材で沖縄の離島各地を訪問。その後、本土企業に勤めながら沖縄を定期的に訪れる。平成3年4月沖縄県宜野湾市に移住。自営業の後、平成11年に沖縄県発の化粧品メーカー「バイオ21」の創業メンバーとして、製品「ちゅららクレンジングローション」の中味の開発以外のすべての業務・(製品のネーミング・意匠・販路開拓・広報・宣伝・販売促進キャンペーン・クレーム処理まで)責任者として経験を積む。平成15年沖縄県初の広報コンサルティング企業として「フロンティアPR株式会社」設立。以後、平成17年から沖縄県企画部委嘱の「沖縄県離島活性化検討委員会委員」。平成19年1月19日経済産業大臣から「地域中小企業サポーター」。同じく同年3月地域活性化担当大臣から「地域活性化伝道師」。平成20年6月総務大臣から「地域力創造アドバイザー」(北大東村担当)を委嘱される。</p> <p>平成24年3月23日 一般社団法人「沖縄離島応援団」設立。理事就任。</p>						
著作・論文等	琉球新報 コラム「南風」 連載、平成19年1月～6月						
取組概要	<p>総務大臣 委嘱 「地域力創造アドバイザー」(北大東村担当)においては、沖縄県の指定離島39島の中でも、もっとも生活環境の厳しい島のひとつである「北大東島」の事情に即した取組みを北大東村役場の村長はじめ・役場の職員と真剣に協議を行なった。全国発売の雑誌などにその取組みが複数回紹介され、平成20年2月7日には、沖縄の離島市町村単独主催のシンポジウムとしては極めて珍しい有料(3000円)の「頑張れ！北大東島シンポジウム」を都内で開催し、満員御礼となった。平成25年より、高校未設置の沖縄県内離島の町村中学校に声掛けして、「十五の春応援カード」を発行。同カードの提示により、沖縄都市モノレールの乗車運賃が半額になるなど、の特典が受けられる。</p>						
メッセージ	<p>沖縄県内の指定離島39島のうち、主観的に自助努力ランキングをしてみると、1位北大東島を含む大東諸島。2位国境の島「与那国島」3位が「多良間島」となります。その他島々のなかでも特に高等学校未設置の島(約30島)の支援を主に取組み中。</p>						
関連ホームページ	http://www.orod.jp/				活動エリア	沖縄圏	

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールのお返事は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。